

**製品名: CDKN2A マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82421**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	16.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDKN2A
別名	ARF; MLM; P14; P16; P19; CMM2; INK4; MTS1; TP16; CDK4I; CDKN2; INK4A; MTS-1; P14ARF; P19ARF; P16INK4; P16INK4A; P16-INK4A
遺伝子 ID	1029.0
SwissProt ID	P42771
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDKN2A (AA: 1-156) の精製された組み換え断片。

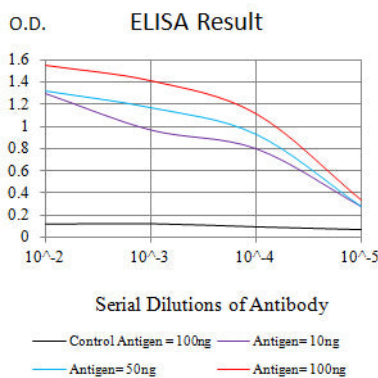
**背景**

この遺伝子は、最初のエクソンが異なる複数の転写バリエントを生成する。異なるタンパク質をコードする選択的スプライシングバ

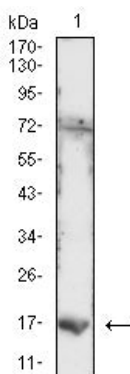
リアントが少なくとも3つ報告されており、そのうち2つはCDK4キナーゼの阻害剤として機能することが知られている構造的に類似したアイソフォームをコードする。残りの転写産物には、遺伝子の残りの部分から20Kb上流に位置する代替の第一エクソンが含まれる。この転写産物には、他のバリエーションの産物とは構造的に無関係なタンパク質を特定する代替オープンリーディングフレーム (ARF) が含まれる。このARF産物は、p53の分解に関与するタンパク質であるE3ユビキチンタンパク質リガーゼMDM2と相互作用し、これを隔離することができるため、腫瘍抑制タンパク質p53の安定化因子として機能する。構造的および機能的な違いがあるにもかかわらず、この遺伝子によってコードされるCDK阻害剤アイソフォームとARF産物は、細胞周期G1の進行におけるCDK4とp53の制御的役割を通じて、細胞周期G1の制御において共通の機能を共有している。この遺伝子はさまざまな腫瘍で頻繁に変異または欠失しており、重要な腫瘍抑制遺伝子であることが知られています。

## 研究分野

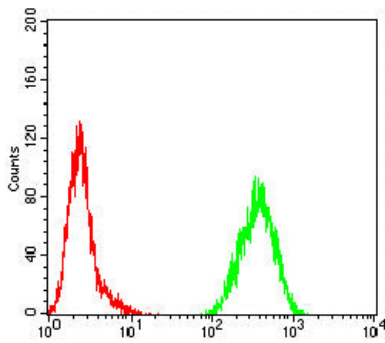
## 画像データ



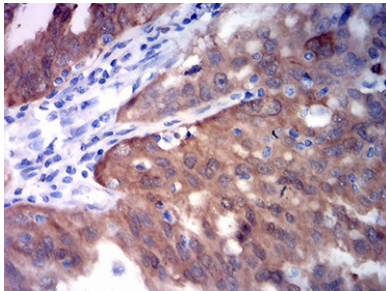
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



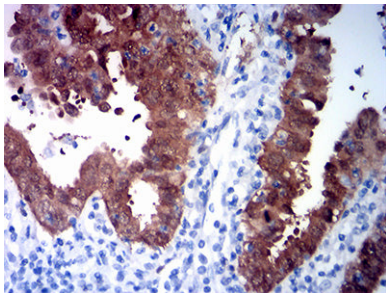
Hela (1) 細胞溶解物に対するCDKN2A マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CDKN2A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CDKN2A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CDKN2A マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。